

令和七年度 東京純心大学 看護学部 看護学科

一般選抜試験（第三回）【国語】 試験問題

試験時間 60分 問題は1～6ページ

注意事項

- ・ 解答は、すべて解答用紙に記入すること。
- ・ 問題用紙は、試験終了後回収する。

受験番号

令和7年3月9日

□ 1 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

※問題文については、朝日新聞社に無断で転載することを禁じます。

商品やサービスの広告であるにもかかわらず広告であることを隠し、消費者に気づかれないよう宣伝する。そんな「ステルスマーケティング」の手法が初めて法規制される。消費者を(ア)欺く行為は信頼を大きく損なう。企業や広告業界は、社会的責任を改めて自覚してほしい。

「消費者が事業者の表示であることを判別することが困難」なもの――。このような表現で、ステマ広告は、商業広告などのルールを定める景品表示法の①ナイカク府告示に、新たな禁止行為として3月末に指定された。「事業者」は企業や個人事業主、学校法人、NPO、自治体など幅広い。10月の施行に向けて十分な周知が欠かせない。

消費者庁の運用基準によると、自らの商品やサービスの広告なのに、(一)事業者が第三者に対価を提供し、その広告内容の決定にも関与してSNSなどで密かに^{ひそ}宣伝させ、消費者を②ゴニン^{ごにん}させるといった行為が禁じられる。それが広告なら「宣伝」「PR」などと、はつきり書き示す必要がある。広告であるとわかれば、ある程度の誇張が含まれているかもしれないと消費者も③ケイカイ^{けいかい}できるからだ。

消費者庁や公正取引委員会、都道府県の調査で「疑い」や違反が確認されれば、広告主である事業者は行政の指導・命令を受ける対象となる。

ネット空間が広告(イ)媒体の主流になり、特にソーシャルメディア上の広告が急増する中、ステマ広告と疑われる例が後を絶たない。欧米では規制が進む一方、日本は「ステマ天国」といえる状況だと有識者からも指摘されてきた。行政は経済活動や表現の自由に留意しつつ、④テキセイ^{てきせい}な法執行にあたってほしい。

消費者庁が今回、SNSで影響力のある「インフルエンサー」300人に尋ねたところ、4割がステマ広告を依頼された経験があり、その半数近くが引き受けたことがあると答えたという。インフルエンサー個人は行政処分の対象外だが、消費者を惑わす行為への加担

は厳に(ウ) 慎むべきだ。消費者も実態を知り、注意力を高めたい。

新聞や雑誌、放送も広告媒体として例外ではない。かつて、広告と(A) 混然一体となった番組制作が地方の民放テレビ局で相次ぎ、問題視されたこともある。情報の受け手に疑念を抱かせぬよう、いま一度、メディアは足元を点検する必要がある。

規制の趣旨・目的を踏まえれば、政府や自治体も⑤サイシンの注意を払うべきだ。政策・施策への支持を世論に広げようと、著名人を通じて情報を発信する広報活動が近年とくに目立つ。報酬を公表せず不信を招いた京都市の例もある。(B) 襟を正す時だ。

(〈社説〉「ステマ広告」『朝日新聞』二〇二三年四月四日) による)

承認番号(2510737)

設問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に直し、(ア)～(ウ)の漢字の読みをひらがなで書きなさい。(送りがなを記す必要はない。)

- ① ナイカク ② ゴニン ③ ケイカイ ④ テキセイ ⑤ サイシン

(ア) 欺(く) (イ) 媒体 (ウ) 慎(む)

設問二 傍線部(A)(B)の言葉の意味を簡潔に記しなさい。

- (A) 混然一体 (B) 襟を正す

設問三 傍線部(一)「事業者が第三者に対価を提供」について、事業者が自治体である場合に当てはめると、過去にどのような例があるか。本文中から例をみつけて、以下の空欄a・bに適切な語を当てはめなさい。

「第三者」に「対価」を提供 ↓ a に b を提供

設問四 ステルスマーケティングの規制について、筆者はどうあるべきだと考えているか。本文を参考にして、以下の空欄（１）～（４）に、適切に答えなさい。

「事業者」

新聞や雑誌……………（１）
放送局……………（２）

「個人」

インフルエンサー……………（３）
消費者……………（４）

□ 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

夏空の主役は雲だ。わた雲、入道雲、すじ雲。さまざまな雲が競い合い、いつときも同じ景色はない。眺めるうち、山村暮鳥の「雲」という詩を思い出した。

おうい雲よ／ゆうゆうと／馬鹿にのんきさうぢやないか／どこまでゆくんだ／ずっと磐城平の方までゆくんか

中学時代の、忘れられない授業がある。国語のK先生は黒板に大きな字で題名を書くと「まず、ぼくが読むからね」と、教壇に

(A) 仁王立ちし、廊下側のすりガラスが震えるほどの (ア) 大音声で朗読した。

「おうい」ではなく「おーーーーーい！」である。面食らう生徒の前に「これぐらい大声でないと、雲に届かないだろう」と、さも愉快そうに笑った。

どこまでゆくんだ、と呼びかけた暮鳥は胸を病み、1924（大正13）年、40歳で亡くなった。磐城平には、かつて伝道師として勤めた教会があったという。死の床から雲を眺めたのだろう。この詩を収めた詩集の刊行を見ぬまま旅立った。

科学的に説明すれば、空に浮かぶ水滴と氷の粒の集合体が雲である。白く見えるのは、その (イ) 粒子が光を散乱させるからだ。

空気の塊が水分を含み、①ホウワ状態を超えると雲ができる。そこから落ちてくる水が雨や雪になる。雲は天気を左右すると同時に、地球規模の (ロ) 水の循環を担い、命の (ウ) 営みを支えている。

「とても身近で欠かせない存在なのに、分からないことだらけなのです」。気象庁気象研究所で天気予報の精度向上を研究する荒木健太郎さん（37）は言う。

いま、チームで取り組んでいるのが、積乱雲が連なり大雨を降らせ続ける (エ) 「線状降水帯」の発生予測だ。

今年度、ようやく集中観測が始まった。雲に水蒸気を②キョウキュウする海上の観測網がなく、低い空で発生するため気象衛星でも

とらえにくい。そもそも、積乱雲は前線や台風といった1000キロ単位の気象現象に比べてけた違いに小さく、予測のための計算技術も確立していない。

けれど、気象学の大きな③シメイは災害から人命を守ることだ。鬼怒川が氾濫した2015年の関東・東北豪雨の前年、荒木さんは地元の中学校や自治体で集中豪雨への注意を呼びかけていた。それでも災害が起きた後、「まさかこんなことになるとは思っていなかった」と聞かされた。

せめて日常から気に掛けてほしいと、荒木さんは「雲愛」を提唱している。雲を見て楽しむ習慣と基本的な知識を身につけておけば、天気④キュウヘンから身を守れるのではないかと考えるからだ。

研究と⑤ヘイコウして、雲をめぐるさまざまな話題を、魅力的な画像とともに発信してきた。基礎知識を(B)網羅した総ルビの「すぎる天気⑥の図鑑」は、続編を含め36万部のベストセラーになった。荒木さんが「雲友」と呼ぶツイッター(出題者注・現在はX)のフォロワーは30万人を超える。「雲はもはや、僕の人生です」と荒木さんは笑った。

どんな理由でもいいから、空を眺めてみよう。雲に話しかけてみよう。おうい、おうい。君の名は。どこから来て、どこへ行くんだい。

雲はいろんなことを教えてくれるはずだ。

(元村有希子「雲を知り、愛する技術」『毎日新聞』二〇二二年八月一三日〈窓をあけて〉欄)による)

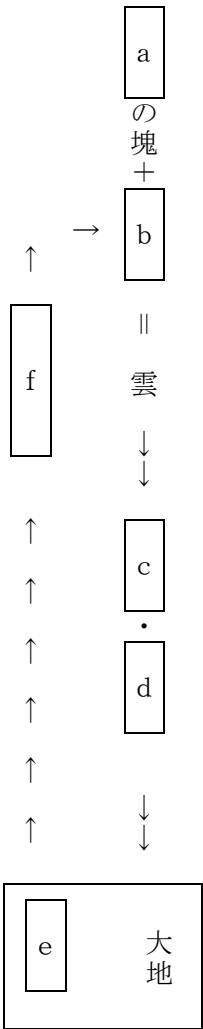
設問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に直し、(ア)～(ウ)の漢字の読みをひらがなで書きなさい。(送りがなを記す必要はない。)

- | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|--------|-----|------|---|-------|---|------|
| ① | ホウワ | ② | キョウキュウ | ③ | シメイ | ④ | キュウヘン | ⑤ | ヘイコウ |
| (ア) | 大音声 | (イ) | 粒子 | (ウ) | 営(み) | | | | |

設問二 傍線部（A）（B）について、言葉の意味を簡潔に記しなさい。

- （A） 仁王立ち （B） 網羅した

設問三 傍線部（ニ）「水の循環」について、本文中の語を用いて左の図解の空欄 a ～ f を埋めなさい。



設問四 傍線部（ニ）「線状降水帯」の発生予測について、本文ではその難しさが説明されている。四点にまとめて、簡潔に記しな

さい。順番は問わない。